

夕刊 常磐新聞

定額 一月五元 三月十元 半年二十元 一年四十元 零售 每份五分

金物は 久商店 平町五丁目 電話九番九番

事の出来ない 又氏の練掛け追論することにする。達の中軸となつた警備商

獨禪録 龍溪雲下漁郎 赤色テロロロ白白色テロロロ

文藝 我が庵は海邊の波方 一門の松の根方さ

社告 社員も不足ですから當分五日發行致し

投稿歓迎 其れに皆様の投稿並に寄稿を歓迎致し

社説

本紙は現下の農村のみの救済の叫びと不平と思ふ救済するのは世相一般ではあるまいか

磐城水産工業の飛躍

輸出縮詰契約

磐城水産工業株式会社に般來より最も能率的なる機あるは、其の低利貸が世の中

常磐春秋

代議士 佐藤庄太郎氏

斯くして人生の行路多難を神一到何事か成ラザランの才も指導なく

社説 第一步

町議 岡山重喜氏 氏は町議たる事二期と覺

文藝

我が庵は海邊の波方 一門の松の根方さ

社告

社員も不足ですから當分五日發行致し

投稿歓迎

其れに皆様の投稿並に寄稿を歓迎致し

常磐新聞社

右兩名入社しました宜しく

「シリロ」に懸け表題「精誠結」にあらすし何ぞや、大に哭するの類滔々として

其は眞に自力に自信を持つ等然らむとす、況んや四敗認めむ、代議士當選も眞に

六 夜の海の眞上にあへて 月明り漁舟の子の 笑顔おもはる

社員 大谷龍雄 平町在勤 社員 齋藤徳洲 小名濱在勤

